

[ も く じ ]

[ 序 論 ]

自然史・理工学デジタルアーカイブの今日的意義  
井上透……005

## 第 1 部…………… 研究データの活用に向けて

[ 第 1 章 ]

科学データのデジタルアーカイブにおける必須条件「オープンデータ」  
大澤剛士……033

[ 第 2 章 ]

研究データ利活用の国際的動向  
——世界の自然史・理工学 DA 活用  
南山泰之……052

## 第 2 部…………… 自然史・理工学 DA の社会的活用

[ 第 3 章 ]

オープンサイエンスと天文学  
——現状と課題  
玉澤春史……071

[ 第 4 章 ]

自然史博物館×デジタルアーカイブ  
——オープンサイエンスを拓く一例としての魚類写真資料データベース  
大西亘……089

[ 第 5 章 ]

自然史情報のデジタルアーカイブと社会的問題への利用  
——地球規模生物多様性情報機構 (GBIF) の機能とそのデータの活用  
細矢剛……112

[第6章]

環境学×教育

——森の感性情報アーカイブ・サイバーフォレストを用いた環境教育

中村和彦……133

第3部……………自然史・理工系研究データの学際的利用

[第7章]

南方熊楠データベース

——文理統合・双方向型デジタルアーカイブ

岩崎仁……155

[第8章]

異分野融合で切り拓く歴史的オーロラ研究

——オーロラ4Dプロジェクトの経験から

岩橋清美……175

[第9章]

東京大学工学史料キュレーション事業の展開

——工学・情報理工学図書館を事例に

市村櫻子……195

あとがき

中村覚……227

執筆者一覧……229